


品番 AU-64212
SNTCM1U


NU04-16 HR

保存用


- ・ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- ・器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ・ご使用后廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- ・工事店様・電器店様へ・・・工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ず確認してください
 **警 告**

- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定の電球以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具の取付面に凹凸があると防水性が損なわれますので取付けないでください。
→感電・絶縁不良の原因になります。
- 器具や電球を布や紙等でおおって使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- 電球外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実に行ってください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実に行ってください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因になります。

 **注 意**

- この器具は門柱取付専用器具です。天井・傾斜天井・壁等には取付けできません。
→落下・焼損・過熱の原因になります。
- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・電球破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中及び消灯直後は器具や電球が高温になっていますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違えて器具に過電圧を加えた場合、電球の短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 取付面と器具の間にすきまが発生した場合はコーキング処理等の防水処理を行なってください。
→放置すると感電・漏電・故障の原因になります。
- ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。
→ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。
- 積雪地域でご使用される場合は、積雪の期間は器具を取外すか雪に埋もれないようにしてください。
→漏電・故障・損傷の原因になります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告

説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。

WARNING

A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意

説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。

CAUTION

A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文
は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS
MARK.



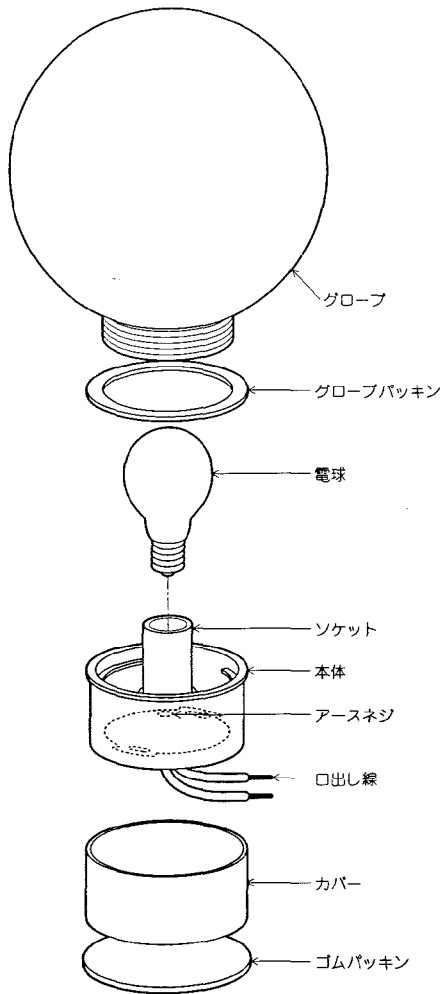
このマークのついている説明文
は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH
THIS MARK.

裏面も必ずお読みください。

このたびはコイズミ照明器具をお買上いただきましてまことにありがとうございます。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)

△ 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

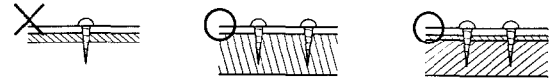


品番 AU-64212
SNTCM1U

■取付けの際に特に守ってください

△ ネジ止めのご注意

- ベニヤ板等の強度の弱い箇所、使用後のネジ穴には取付けないでください。
・ 器具の落下の原因になります。



△ 電気工事

- 素人工事は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

○ こんな場所には取付けないでください。

- ・ 右図のような取付けは、火災・感電・落下によるけがの原因になります。



△ メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に器具を取付ける場合、器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工してください。

- ・ ポリ台(木台)等と取付面の間にすき間のある場合は、防水シール等で埋めてください。
・ 防水が不完全な場合、火災・感電の原因になります。

△ 湿気の多い場所、水気のある場所に取付ける場合は、必ず器具の接地端子を使ってD種(第三種)接地工事を行なってください。

- ・ 接地が不完全な場合、感電の原因になります。

△ 取付面が十分乾燥していることを確認の上、取付けてください。

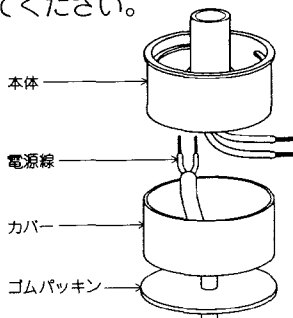
- ・ 器具や取付面の変色の原因になります。

■取付順序と操作方法

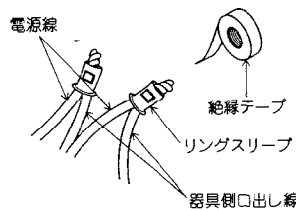
○ ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△ 必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると、落下・けが・過熱の原因になります。

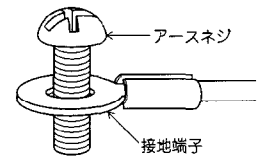
① 電源線をゴムパッキン、カバーに通してください。



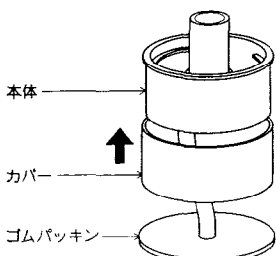
② 電源線を接続してください。器具の口出し線の接続は絶縁テープ等により確実に絶縁処理を行なってください。



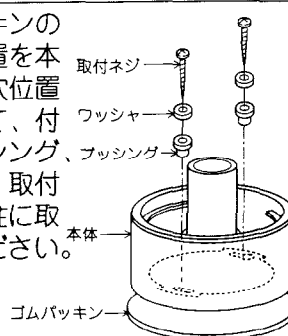
③ 湿気の多い場所、水気のある場所に取付ける場合は、必ずD種(第三種)接地工事を行なってください。



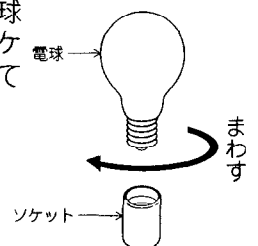
④ カバーを本体にはめ込んでください。



⑤ ゴムパッキンの取付穴位置を本体の取付穴位置と合わせて、付属のプッシング、プッシング、ワッシャ、取付ネジで門柱に取付けてください。

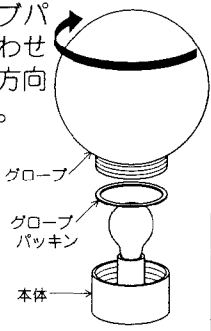
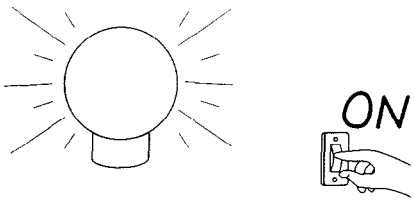


⑥ 器具の指定電球を確認し、ソケットに取付けてください。




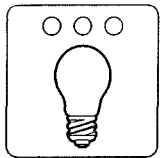
△ 電球の取付けは丁寧に、確実に行ってください。破損・落下の原因になります。

取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

<p>⑦ グローブとグローブパッキンを本体に合わせて右(時計の針の)方向に回してください。この際グローブパッキンがよじれたりしないように確実に取付けてください。</p>  <p>△無理な力は加えないでください。</p>	<p>⑧ 電源を入れて、点灯を確かめてください。</p>  <p>△点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。素人工事は危険です。</p>	
--	--	--

■器具のお手入れ

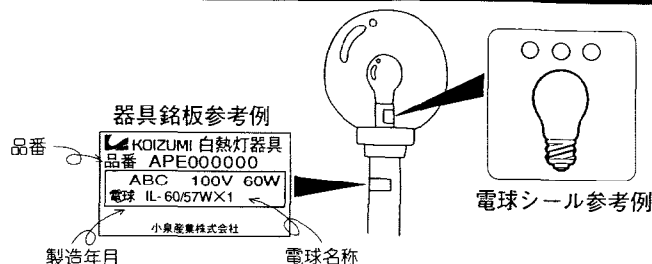
- ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。
- △必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。
- △点灯中や消灯直後は器具や電球が高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。
- △安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。

 <p>やけどのおそれあり</p> <p>点灯中や消灯直後の電球にさわらない</p>	<p>(1) 電球の交換方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② グローブを■取付順序の⑦を参考に取外してください。 ③ ■取付順序の⑧を参考に指定の電球と交換してください。(指定電球は器具に表示してある電球シールをご確認ください。) ④ グローブを■取付順序の⑦を参考に取付けてください。 <p>(2) グローブのお掃除</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② グローブを■取付順序の⑦を参考に取外してください。 ③ 乾いた柔らかい布等でグローブの汚れを拭き取ってください。 ④ グローブを■取付順序の⑦を参考に取付けてください。 	<p>電球シール参考例</p> 
---	--	---

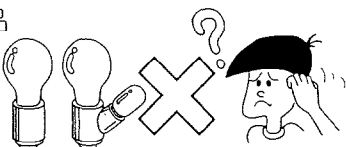
△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。
 ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。) ⑩

保存用

◆ 品番・製造年月は器具銘板に記載されています。電球種類は器具の電球シールをご確認ください。交換用の電球は器具の指定のものを必ずご使用ください。



○ 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。



感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

○ 器具や電球を布や紙等でおおわないでください。
 火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○ 器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。

感電・故障の原因になります。

○ 点灯中および消灯直後は器具や電球が高温になっていますので素手で触らないでください。



やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。

○ 器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。

火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○ シンナーやベンジン等の揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。



変質・故障の原因になります。

○ 器具や電球に着色等をしないでください。
 焼損・過熱・故障の原因になります。

○ 器具をまるごと水洗いしないでください。
 感電・焼損・故障の原因になります。

△ お手入れや電球交換の時は必ず電源を切ってから行ってください。



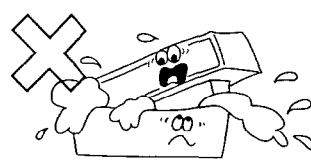
通電のまま行なうと、感電の原因になります。

△ 器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
 工事店・電器店にご相談ください。

△ 電球交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数の電球をご使用ください。
 間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

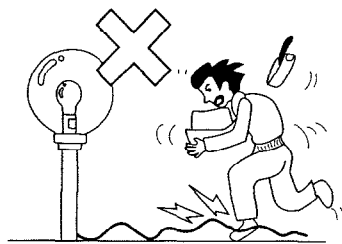
△ 器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。



感電・焼損・故障の原因になります。

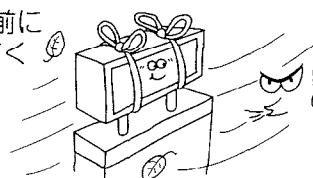
△ 点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具や電球に損傷等がないかを確認してください。
 異常がありましたら、購入店にご相談ください。

△ ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。



ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

△ 台風や強風の場合、事前に器具の点検・補強をしてください。



倒壊・落下・けが・破損の原因になります。

商品のお問い合わせは……フリーダイヤル 0120-5123-02

修理・アフターサービスのお問い合わせは……(電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

- 北海道サービスセンター ☎011 (865) 3866
- 神奈川サービスセンター ☎0463 (95) 8008
- 関西サービスセンター ☎0729 (85) 5521
- 東北サービスセンター ☎022 (236) 4272
- 中部サービスセンター ☎0568 (75) 5931
- 岡山サービスセンター ☎086 (245) 2071
- 関東サービスセンター ☎0489 (28) 4381
- 北陸サービスセンター ☎076 (249) 3205
- 広島サービスセンター ☎082 (249) 1018
- 九州サービスセンター ☎092 (622) 4010

小泉産業株式会社

照明事業本部 〒579-8025 大阪府東大阪市宝町12-8 ☎0729(86)5054